

ケンヤ

人間の運命というのは予期せぬことでガラリと変わってしまう。「ケンヤ」と呼ばれた少年の歩んだ道を振り返り、つくづくそう実感した。後に日系人で初めてペルー大統領になったアルベルト・フジモリさんである。先日、地球の裏側から訃報が伝わった。86歳でした。

熊本県出身の両親は当初、ペルーで一旗揚げて故郷に錦を飾るはずだったという。だから家のなかでは熊本弁が飛び交い、息子には日本名をつけた。しかし、第二次世界大戦でその夢は潰える。父親はとどまることを決めた。もし帰国していたら…。フジモリ一家だけでなく、かの国の風景もずいぶんと違ってはいたはずだ。

幼少期に排日運動も経験した。自分はペルー人だと言いながらも、大統領選でのスローガンは「誠実・勤勉・技術」。日本人へ好印象をしたたかに利用した。日本大使公邸人質事件の対応を指揮し、強権的手法やスキャンダルを追及されると日本で事実上の亡命生活を送った。祖父の地との縁を本人はどう感じていたのか。褒めたりけなしたりすることはあるにせよ、彼の存在が多くの日本人が忘れかけていた移民の歴史に思いを馳せ民族や国家、世界について考える機会を与えたのは事実ではないか。

昨年末に刑務所を出た後、病に蝕まれながらも大統領への振り返りを目指していたと聞く。頑固一徹。その姿に「肥後もっこす」の言葉を重ねたくります。

鎌野



空気

今年の夏もようやく終りに近づいて、朝夕は御殿場も涼しさを感じるようになってきましたが、日中はうだるような暑さが続いています。気づけば9月も終わりの今日この頃。このまま地球温暖化が進めば、秋が本当になくなりそうですね。

我々建設業に携わる者にとって、空気は断熱材としての効果があるということは常識です。例えば窓のペアガラスの中には空気やアルゴンなどの不活性ガスが入っていて、断熱効果を高めていますし、家の壁の断熱材も、気泡が沢山入った物や空気層を利用した物が多くあります。そんな空気を1℃上げるということは、本当は物凄いことで、莫大なエネルギーが必要となります。実際には、空気中の水蒸気等も温まっているのですが、地球の平均気温が1℃上がるということは、本当に物凄いことなのです。

今現在、平年の気温より5℃とか高くなっているのは、本来は異常とか言っている場合ではないのです。危機的状況です。そしてその原因は明らかで、地球が何億年も掛けて地下にため込んだ化石燃料を掘り起こして燃やしているのですから。結果は火を見るより明らかです。でも人間の性で利益や現在を優先させてしまい、将来のことには目をつぶる。現在の世界はそういう世界です。既に現在の状況にストップをかけることは難しく、恐らく化石燃料を使いきるまでは、人類は止まれないでしょう。悔い改めなければ、救われることはないでしょうね。

英樹



配り

第
304
便

勝亦製材駿河鉄骨株

住まい塾御殿場教室

TEL (0550) 87-0048

FAX (0550) 87-1237

〒412-0035 御殿場市中山518番地



夕暮れに一つぴきの声蝉の声移ろう風に羽音をのせる
ねがみともみ



野萱草ゆつたり咲ける暇道懐き見渡す田園風景
なわてみち

勝亦
りつ子



ワゴニア

以前書いたかもしれませんが富士山の中腹、標高 2100m あたり御殿場口登山道と須走口登山道の間あたりに打ち捨てられた廃車があります。1983 年から製造されていたアメリカ製の四輪駆動車、グランドワゴニア。なぜそんなところにそんな車があるのか、登山道からは遠く、周りには火山礫があるのみ。富士の斜面を山頂に向かって佇んで朽ちていく最中の一台のアメ車。

ロマンあふれる佇まいが登山者の間ではちょっと有名なこの車、言い方を変えると不法投棄のごみなんですよ。なので行政がついに撤去に動き出したんです。所有者は速やかに撤去せよとの張り紙が今年になって貼られました。その期限が 9 月。まあ現れないでしょうね。という事で行政代執行になると思われま。ワゴニアが何故、どうやってあそこまで登ったのかも興味深いですが、アレをどうやって片付けるのか、それも大変興味深い。ぜひともその撤去作業に立ち会って見学したいなどと思っているのだけれど、当然平日作業だろうし、日程なんて教えてもらえないんだらうな。

撤去にはまだしばらく時間がかかるはずなので、見てみたいという方は今の内ですよ。ただし登山経験が必要になります。

柳田敏和



『おはぎ』

現在、二十四節気の『秋分』です。暑さ寒さも彼岸までとはよく言ったもので、秋はいつ来るのか！と思っていましたが、お彼岸を過ぎ、日中の日差しは暑いですが、朝夕はヒンヤリとして、炬燵の出番だろうかと、考えます。そのお彼岸には『おはぎ』を作ります。小豆をたくところからはじめ味付け、アンコを作り。もち米をたいて半殺し。アンコで包むという感じでしょうか。市販のものはアンコで包むのではなくかけている物が売られていますが最近の流行りとはいえ、ビジュアルがちょっと・・・この『おはぎ』検索しますと、古くから日本では、赤いものには、魔除けの効果があると信じられていました。その小豆をたくさん使った、『おはぎ』や『ぼたもち』は邪気を払う食べ物として、先祖の供養のために、お盆やお彼岸の時期に食べられてきたと。もともと大きさの違いがキッカケで 2 つの名前が生まれ、『おはぎ』は小豆の粒が散らばった様子が萩の花が散って地面に落ちた様子に似ていることから、『萩の餅』中でも小さく上品に作られた『萩の餅』を丁寧なことば使いで、『おはぎ』。一方『ぼたもち』は中でも大きな『萩の餅』のことを指し、かつて小豆は高級品だったため、集まった人たちのおもてなしとして大きく作り、これを華やかな牡丹の花にたとえたと。なかなか情緒がありますねえ。私は、少し前までは朝ごはん代わりに『ぼたもち』を食べ、お弁当に『ぼたもち』を詰める。しかしながら、年齢でしょうか、甘いものがキツクなってきました、お菓子のジャンルでいいかな・・・と。世間一般では当然お菓子という認識だと思います。お菓子屋さんの『おはぎ』は甘さが家のものよりも甘い！当たり前です、お菓子ですから・・・『おはぎ』に真っ赤な彼岸花（曼珠沙華）、いいですね。

ねがみ



御殿場市ふれあい広場

9/28(土)に「第 41 回御殿場市ふれあい広場」に参加しました。御殿場市社会福祉協議会が主催で、市民と福祉に関係する様々な機関・団体・個人が、一堂に会し、交流し、思いやりの心で明るく住みよい御殿場市をつくるために『ふれあいの小さな手から大きな輪』をテーマに開催されています。家庭倫理の会も毎年参加していましたがコロナ禍を堺に予定も合わなかったこともあります。5～6 年ほど遠のいていました。「新世」や「職場の教養」のバックナンバーやチラシを配布させていただきました。パネルに家庭倫理の会の活動を紹介する展示物も用意しました。学祭の準備を思い出しく制作させていただきました。

スタンプラリーの協力店にいただいた為か、多くの来場者に足を止めていただき、用意した配布物は午前中で全てなくなり、閉会式まで会場の雰囲気を楽しみました。



祥子